

日本食道学会より

『食道癌手術後の異時性胃癌（胃管癌）に対する全国実態調査』について

➤ 研究（調査）の目的と概略

食道癌の手術では、食道を切除したあとに胃を持ち上げて再建することが一般的です。近年、手術後の胃に胃癌が見つかることが増えていますが、全国的な調査は行われておらず、治療法や治療成績などの実際はよくわかっていません。

食道癌の診療で中心的な役割を果たしている全国の施設からデータを集積して、解析することにより、食道癌手術後の胃癌に対する治療成績の向上を図ります。

➤ 研究（調査）の方法

日本食道学会の食道外科専門医認定施設において、食道癌手術後に胃癌の診断を受けた患者さんの診療録を調査します。手術から胃癌診断までの期間や診断法、治療法、治療成績などを調べます。研究事務局においてデータを集積し、本邦における食道癌手術後胃癌の診療の実際を明らかにします。

（収集する情報：年齢・性別・食道癌に対する手術術式・食道癌の病理組織学的因子・手術から診断までの日数とフォローアップの方法、頻度・胃管癌の発見の契機と診断法・H.pylori 保菌状態・喫煙歴・飲酒歴・胃管癌の部位）・他臓器の重複癌の有無および時期・治療法・非切除治療の内容、期間・内視鏡的切除の場合の術式・外科的切除の場合の手術術式・補助療法の有無・胃管癌の組織型、切除度・治療中/後の合併症・転帰・最終確認日・再発の状況）など

➤ 情報提供先の機関

匿名化した電子データ情報を「九州がんセンター 消化管外科」へ提供します。また、データ提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。当院での個人情報の管理については、当院の研究責任者が管理します。

➤ 研究（調査）の参加施設

日本食道学会食道外科専門医認定施設

➤ 調査期間

対象となる調査期間： 2001年 1月 1日 ～ 2015年12月 31日
総 研 究 期 間：当院倫理審査委員会承認日 ～ 2022年 3月 31日

➤ 調査の対象となる患者さんへ

上記調査期間に、食道癌手術後の胃癌（胃管癌）の診断を受けた患者さんが対象になります。診療記録から得られたデータをまとめて解析します。患者さんのデータは、個人が特定できないよう匿名化して管理し、個人情報を保護します。

➤ この調査への協力は任意です。

この調査に協力するかどうかは、患者さんの自由な意志で決まります。調査へのご協力の如何にかかわらず、利益や不利益が及ぶことはありません。データの使用をお断りになる場合には本研究の対象から除外しますので、ご遠慮なくお申し出ください。

➤ お問い合わせ先

当院研究責任者：佐賀大学医学部附属病院 一般・消化器外科 教授 能城 浩和
当院連絡先：佐賀市鍋島5丁目1番1号 佐賀大学医学部附属病院 一般・消化器外科
担当者：佐賀大学医学部附属病院 一般・消化器外科 梶原 脩平
電話番号：0952-34-2349
この研究は、食道学会研究推進委員会が研究事務局を担当しています。
研究代表責任者：藤 也寸志（九州がんセンター 消化管外科）

研究事務局へのお問い合わせ先

特定非営利活動法人日本食道学会 事務局
〒130-0012 東京都墨田区太平2-3-13 廣瀬ビルディング4階
TEL:03-6456-1339 FAX:03-6658-4233 E-mail:office@esophagus.jp

このお知らせは当院臨床研究倫理審査委員会承認日より2021年3月31日までの間、研究対象となる患者さんへの公表を目的に、佐賀大学医学部附属病院臨床研究センターホームページに掲載しているものです。

臨床研究センターHP <http://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/chiken/>

なお、この研究内容は、佐賀大学における所定の委員会で審査を受け、承認されたものです。臨床研究センターHPでは、佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会に関する他の情報等も公表していますのでご覧下さい。